

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing

Cisco® Unified MeetingPlace® 音声およびビデオ会議における Web 会議機能を実現

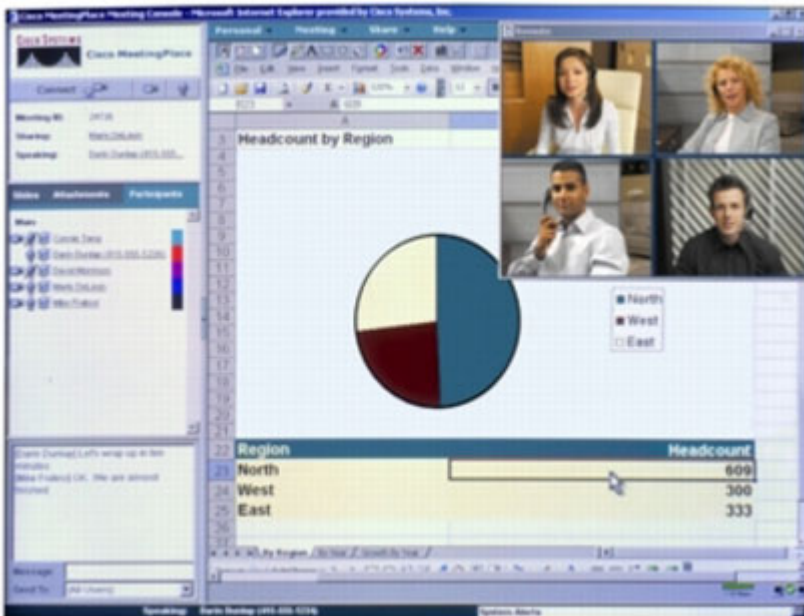
製品概要

Cisco® Unified MeetingPlace® 会議システムは、シスコ ユニファイド コミュニケーション製品シリーズの 1 つとして、音声、ビデオ、および Web 会議機能を統合することにより、リッチメディア会議ソリューションを提供します。この製品は、フェイスツーフェイスの会議と変わらない自然で効果的なリモート会議を実現し、会議の生産性を向上させます。Cisco Unified MeetingPlace は、ファイアウォールの内側にオンネットとして配置され、企業のプライベート ネットワークの音声、データ、エンタープライズ アプリケーションを直接統合します。そのため、コストを大幅に削減し、セキュリティを確保できるとともに、使いやすさにも優れています。

シスコ ユニファイド コミュニケーション ファミリーにおける音声、ビデオ、および IP コミュニケーションの製品およびアプリケーションは、企業のコミュニケーションを円滑にし、ビジネス プロセスの短縮、適切なリソースへの迅速なアクセス、および利益の拡大を可能にします。

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing は、スタッフ間でのコンテンツの共有および共同作業を可能にする Cisco Unified MeetingPlace ソリューションのコア コンポーネントであり、リッチメディア会議のセットアップ、参加、および管理を容易に行うための機能が組み込まれています(図 1)。

図 1 単一のブラウザ ウィンドウ上で、参加者および共有コンテンツの表示と共同作業を行う画面を表示して、音声、ビデオ、および Web 会議を管理する



大手企業および自治体では、Cisco Unified MeetingPlace 会議を使用して市場や業務を拡大し、作業効率を向上させ、迅速な意思決定を行うことができます。一般的な用途として、共同ミーティング、セールス デモンストレーション、製品開発、サポート、研修、プレゼンテーションなどがあります。

Cisco Unified MeetingPlace 会議は多様な配置が可能です。社内施設に配置することも社外施設に配置(ホスティング)することもでき、自社で管理することも外部に管理を委託することもできます。外部委託によって、自社内システムまたはホステッドシステムに関するシステム管理とエンド ユーザへのヘルプ デスクも可能になります。これは、専用のオンネット会議の利点と、外部委託サービスの利便性をうまく組み合わせた利用方法だということができます。

主な機能と利点

Cisco Unified MeetingPlace リッチメディア会議ソリューションの一部を構成する Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing では、音声、ビデオ、および Web 会議を含めた、効率的で生産性の高い仮想ミーティングをセットアップし、実施することができます。

統合性の高いリッチメディア会議のスケジュールおよび参加

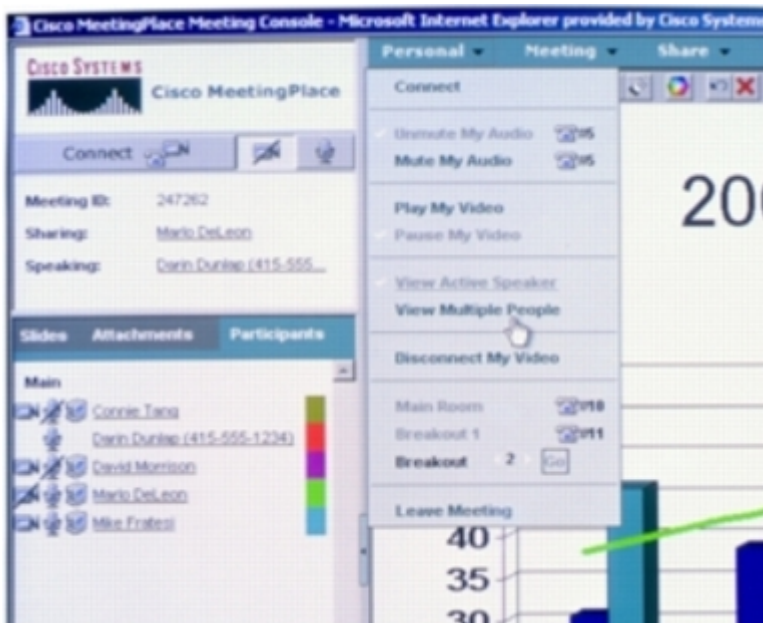
統合された音声、ビデオ、および Web 会議へのセットアップおよび参加を容易に行えるようにするため、Cisco Unified MeetingPlace は Web ブラウザ インターフェイスを用意するとともに、Microsoft Outlook の予定表および IBM Lotus Notes カレンダーと高度に統合されています。ミーティングへの参加予定者は、E メールまたはカレンダーによって招集通知を自動的に受け取り、1 回クリックするだけでリッチメディア会議に参加することができます。Cisco Unified MeetingPlace では、Jabber Messenger などの安全な Instant Messaging (IM) クライアント、およびプッシュ式の Cisco Unified IP Phone から、ビデオを含むリッチメディア会議を開始できます。

Cisco Unified MeetingPlace ソリューションには、業界最高レベルのビデオ設定機能およびビデオ制御機能が統合されており、音声、ビデオ、および Web 会議のためにエンタープライズクラス ソリューションとユーザ環境を求める組織のニーズに対応します。ビデオ設定には、ミーティング開始時に自動的に Multipoint Control Unit (MCU) に接続される特定のビデオ ターミナルについて検索し、アベイラビリティを確認してスケジュールリングするため、複数の Cisco Unified Videoconferencing MCU に容量を予約する機能が含まれます。また、ミーティングごとに帯域幅、ビデオ レイアウト、アクセス制限を定義するサービス コードを事前に設定しておき、ビデオ設定でこれらのサービス コードから選択することができます。

リッチメディア会議の高度な制御

Cisco Unified MeetingPlace では音声、ビデオ、および Web 会議が緊密に統合されているため、ミーティング中でも高度な制御を行うことができます(図 2)。ミーティングを中断せずに、参加者、参加方法(音声、ビデオ、または Web)、現在の発言者、および現在の共有者を知ることができます。ミーティングをスムーズに進行させるため、適切な権限を与えられたユーザは、Web 会議の許可、発言の許可(消音、聴講専用など)、レコーディング、ミーティングに関するセキュリティなど、各種のミーティング機能を制御できます。また一般のユーザは、電話の消音/消音解除、エンド ポイントのビデオ レイアウト、ビデオの再生/一時停止、プライベート ディスカッションなど、各自のミーティング環境を設定することができます。ユーザがミーティングから退出したり退場を指示されたりすると、音声、ビデオ、および Web などすべてのメディアの接続がただちに切断されます。

図 2 メニュー オプションをクリックして、音声、ビデオ、および Web 会議内の発言者、共有者、参加者を確認する



強力な Web 会議

参加者は、Web ブラウザから、共有中のアプリケーション、ドキュメント、Web サイト、ホワイトボード、またはプレゼンテーションをリアルタイムに表示し、コメントを付加し、検討することができます。ミーティングの対話性を高めるために、参加者は共有アプリケーションの制御を安全に受け渡すことができます。また、ストリーミング メディアを一緒に閲覧したり、同時にアクセスすることができます。チャットおよびポーリング機能によって、非公開の対話およびグループ フィードバックが可能になります。

リッチメディア会議のレコーディング

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing では、ミーティングの内容を安全にキャプチャし、記録します。ミーティングの記録は電話または Web インターフェイスから起動でき、標準 Web ブラウザを使用して、Web および音声ミーティングの同期記録や再生ができます。この場合、特別なハードウェアやソフトウェアは不要です。

安全な Web 会議

セキュリティを重視する企業では、Cisco Unified MeetingPlace 会議を使用しています。Cisco Unified MeetingPlace 会議では、オンネットでの会議に対して、アーキテクチャおよびアプリケーション面でのセキュリティが確保されています。Cisco Unified MeetingPlace ソリューションは、インターネット ベースの会議サービスとは異なり、内部会議はファイアウォールの内側に分離するとともに、パートナー、カスタマー、およびサプライヤとの会議へはインターネット経由でアクセスできるようにします。会議は暗号化が可能で、特定のユーザのみにアクセスを制限できます。さらに、会議中の各種セキュリティ設定によって不適切な参加者に退場を指示することができます。

実績のある導入ツールおよびセルフ ヘルプ ツール

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing には、豊富な導入ツールおよびセルフ ヘルプ ツールが用意されています。すべての Cisco Unified MeetingPlace システムには Cisco Unified MeetingPlace Reference Center が付属しています。Cisco Unified MeetingPlace Reference Center は、Web ベースのセルフ ヘルプ型ポータルであり、クイック スタート ツール、参照カード、セルフ ペース型ラーニング モジュール、ミーティングのヒント、および使用例を用意しています。Cisco Unified MeetingPlace Reference Center は設定が容易であり、セルフ ヘルプ ツールをカスタマイズして個別の設定および企業独自の設定を反映させることができます。

製品アーキテクチャ

リッチメディア会議

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing アプリケーションは、Cisco Unified MeetingPlace ソリューションの一部として 1 つまたは複数の Cisco Media Convergence Server (MCS) で稼働させることができます。ソフトウェアは、IP ネットワークを使用して Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ音声サーバと通信し、Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook、Cisco Unified MeetingPlace for IBM Lotus Notes、Cisco Unified MeetingPlace Video Integration、Cisco Unified MeetingPlace Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) E-Mail Gateway、および Cisco Unified MeetingPlace Instant Messaging と統合されています。統合製品の詳細は、各製品のデータシートを参照してください。

安全な Web 会議

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing は、インターネット上のだれもがアクセスできる共有会議サービスとは異なり、安全性の低いネットワーク エリアにある企業のファイアウォールの内側にも配置できます。この柔軟な展開により、ファイアウォールによって部外秘のミーティングの安全性を確保するとともに、使い慣れた同じシステムでパートナーおよびカスタマーと会議することができます。

ハイ アベイラビリティ

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing サーバをクラスタ構成で配置することにより、システムの拡張性、負荷分散、およびフェールオーバーを実現することができます。また、負荷分散構成で配置した場合、ミーティングは自動的に負荷が最も少ないサーバ上で開始され、サーバで障害が発生すると、ミーティングは自動的に代替サーバで再開されます。

システムの容量

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing は、Cisco MCS をクラスタ構成で使用する場合、Web 会議で最大 1,152 人の同時ユーザをサポートできます。クラスタの各サーバがサポートできる Web 会議の同時ユーザ数は最大 200 で、ミーティングの最大サイズは、プレゼンテーションの共有を行うミーティングで 150、アプリケーションの共有を行うミーティングで 100 です(下記の「Web 会議」を参照)。

機能

リッチメディア会議

- **統合音声会議** — Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing では、Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ音声サーバの音声会議プラットフォームが統合され、音声と Web が統合された会議ソリューションを提供します。
- **統合ビデオ会議** — Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing では、Cisco Unified MeetingPlace Video Integration によって Cisco Unified Videoconferencing システムが統合され、音声、ビデオ、および Web が統合された会議ソリューションを提供します。
- **統合 IM** — Cisco Unified MeetingPlace for Jabber Messaging Integration を使用することで、Jabber Messenger から統合された音声、ビデオ、および Web 会議を簡単に開始できます。

ミーティングの管理

- **ミーティング コンソール** — Cisco Unified MeetingPlace 会議は、ブラウザ ベースのインターフェイスを備え、ミーティングの音声、ビデオ、および Web 要素を管理し、コンテンツの共有を可能にします(下記の「Web 会議」を参照)。
- **個別の制御** — ミーティングの参加者は、電話またはビデオ エンドポイントを使用して発言し、消音/消音解除の設定、ビデオの再生/一時停止、ビデオ レイアウトの変更(現在の発言者から複数画像 [継続表示] への切り替え)、ビデオの接続解除、ブレイクアウトセッションへの参加(電話)、さらにミーティングからの退席(音声、ビデオ、Web セッションの切断を伴う)を行うことができます。
- **ミーティングの制御** — ミーティングの招集者は、音声および Web 会議の許可の変更、参加者の消音/消音解除の設定、全参加者の消音の設定、参加者のビデオの再生/一時停止、ユーザ名の変更、内部 Web サーバから外部 Web サーバへのミーティングの移動、ミーティングのレコーディング、音声会議の宣言の変更、ミーティングのロック、ユーザへの退場の指示、およびミーティングの終了を行うことができます。
- **発言者および共有者のリアルタイムな識別** — 発言者と共有者のリストをいつでも表示できます。
- **参加者リスト** — すべての音声、ビデオ、Web 会議の参加者リストを、関連するコメント カラーおよび権限アイコンとともに表示できます。

- **チャット** — オープン フォーラム ミーティングでは公開または非公開でテキストメッセージを送信できます(下記の「オープン フォーラム ミーティングおよび講義形式のミーティング」を参照)。講義形式のミーティングでは、プレゼンターはだれとでもチャットができ、聴衆メンバーはプレゼンターとだけチャットができます。
- **追跡の使用** — ミーティング コンソールの使用状況を個別に追跡します。一般的な Web 会議では、課金を行うために使用されます。

Web 会議

- **プレゼンテーション** — Windows、Mac OS、または UNIX ベースの Web ブラウザだけを使用して、PowerPoint プレゼンテーションの表示および共有ができます。
- **コメント/ホワイトボード** — 共有のアプリケーション、プレゼンテーション、およびホワイトボードではコメントを付加することができます。
- **アプリケーション/デスクトップの共有** — Windows(ブラウザまたは T.120)、Mac OS(Safari ブラウザ)、および UNIX(T.120)を使用して、ドキュメント、アプリケーション、またはデスクトップを共有できます。
- **リモート制御** — 許可されている場合、共有のアプリケーション、プレゼンテーション、ドキュメント、Web サイト、またはデスクトップをリモートから制御して、共同作業またはリモート アシスタンスを行うことができます。
- **ポーリング(アンケート)** — 参加者の意見を集め、迅速な意思決定を可能にします。ミーティングの開始前またはミーティング中にリアルタイムで、アンケート調査、およびブレインストーミング セッションを作成できます。プレゼンターは、アンケートを実施し、結果を棒グラフまたは円グラフ、あるいは匿名や記名のリストにして表示することができます。調査の結果は、ミーティング中でもミーティング後も利用できます。
- **カスタマイズ可能なビュー** — 参加者は 1 つのウィンドウで、すべての共有コンテンツおよび制御情報を表示することも、共有コンテンツを最大表示するために参加者情報やチャットを非表示にすることもできます。
- **レコーディング** — Web および音声ミーティングの同期コンテンツを自動的に記録し、再生できます。 デスクトップに別途ハードウェアまたはソフトウェアを用意する必要はありません。音声記録は、Waveform Audio(WAV)、MPEG Layer 3(MP3)、または Windows Media ファイルとして保存できます。

ミーティングのセットアップおよび参加

- **予約不要のミーティング** — 音声、ビデオ、および Web 会議はいつでも利用でき、指定ユーザごとにミーティング ID を設定できます。予約不要のミーティングは、内部または外部ミーティングとして設定され、予約不要のミーティング用に最大数のポートを設定できます。
- **ビデオのスケジューリングと参加** — 統合されたリッチメディア会議は、音声、Web、複数のビデオ Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit(MCU)、およびビデオ ターミナルを併せてスケジュールできます。ユーザはミーティング開始時に、Cisco Unified Videoconferencing MCU から自動的にアウトダイヤルされる特定のビデオ ターミナルについて、ディレクトリ検索、アベイラビリティの確認、およびスケジュール作成を実行できます。MCU を経由して接続する、またはポイントツーポイントのビデオ コールである、ビデオ専用の会議をセットアップすることもできます。帯域幅、ビデオ レイアウト、およびアクセス制限を定義するサービス コードを事前に設定しておき、複数のサービス コードから選択できます。
- **オープン フォーラム ミーティングおよび講義形式のミーティング** — Cisco Unified MeetingPlace 会議では、プロジェクト ミーティングやスタッフ ミーティングなど、対等な発言を必要とする少人数のミーティングにはオープン フォーラム ミーティングを、また、プレゼンテーションや研修セッションなど、管理された多人数のミーティングには講義形式のミーティングをセットアップできます。講義形式のミーティングでは、指定された参加者だけが発言およびプレゼンテーションを行えますが、オープン フォーラム ミーティングでは、デフォルトでだれでも発言およびプレゼンテーションが行えます。どちらのミーティングでも、招集者は必要に応じて参加者の許可を変更できます。
- **招集** — カレンダーまたは E メールによる招集が、統合リッチメディア会議の参加に必要な情報を添付して自動的に対象者に送信されます。
- **ポイント アンド クリックによる参加** — カレンダー、E メール通知、URL リンク、インターネット メッセージング、またはブラウザから音声、ビデオ、および Web 会議に直接参加できます。

セキュリティ

- **専用オンネット システム** — 専用の Cisco Unified MeetingPlace システムを、お客様の私設ネットワークに統合して提供します。
- **インターネット ロックアウト制御** — ミーティングは、企業ファイアウォールの内側に配置される社内ミーティングとして、またはインターネットからの参加者もアクセスできる外部ミーティングとしてセットアップすることができます。管理者および招集者は、ミーティングを完全に管理できます。
- **アクセス認証** — ミーティング招集者は、参加者がミーティングの参加またはドキュメントや記録の利用のためにログインする際に、認証を求めることができます。また、Cisco Unified MeetingPlace システムでは、ログインに何度も失敗したユーザを自動的にブロックすることもできます。
- **自動アカウント管理** — Cisco Unified MeetingPlace 会議には企業ディレクトリが統合されており、退職者のアカウントは自動的に削除されます。詳細は、Cisco Unified MeetingPlace Directory Integration のデータ シートを参照してください。
- **シングル サインオン** — シングル サインオンにより、ユーザ認証が簡素化されます。Windows Integrated Authentication と LDAP 認証がサポートされているため、簡単で安全なアクセスが可能です。
- **暗号化** — Cisco Unified MeetingPlace 会議は、Secure Sockets Layer (SSL) で Web ページおよび Web 会議トラフィックを暗号化できます。
- **インセッション ミーティングの制御** — ミーティング招集者は、音声および Web 会議の許可の変更、参加および退席時の宣言の指定、パスワードの要求、ミーティングのロック、および不適切な参加者への退場の指示を行うことができます。
- **PKI (Public Key Infrastructure; 公開鍵インフラストラクチャ) のサポート** — Cisco Unified MeetingPlace 会議は、クライアントと Web サーバ間の PKI 証明書をサポートしています。

アクセスの向上

- **共通インターフェイス** — Cisco Unified MeetingPlace ソリューションには、Java 対応の標準 Web ブラウザ (Windows、Mac OS、UNIX)、電話 (公衆交換電話網 [PSTN]、構内交換機 [PBX]、IP、無線)、および標準ベースのビデオ エンドポイント (H.323、H.320、Skinny Client Control Protocol [SCCP]) からアクセスできます。
- **「Java レス」モード** — 多くのユーザが Web 会議に参加できるようにするために、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、Java を備えていないブラウザのユーザに対するプレゼンテーションもサポートしています。
- **ファイアウォールに対する透過性** — HTTP/HTTPS トンネリング テクノロジーによって、ファイアウォールの内側からでも Web 会議に参加できます。
- **接続速度の検出** — Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、接続速度を自動的に検出し、利用可能な帯域に合わせて Web パフォーマンスを最適化します。

その他の機能

- **設定可能なユーザ インターフェイス** — システム管理者は、フィールドの表示と非表示を簡単に切り替え、英語のテキストおよびフィールド ラベルを変更できます。
- **多言語サポート** — Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、スペイン語 (ラテン アメリカ)、およびポルトガル語 (ブラジル) をサポートしています。

システム要件

表 1 に、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のシステム要件を示します。

表 1 システム要件

機能	要件
ハードウェア	
音声会議プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ音声サーバ
ビデオ会議プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Videoconferencing (オプション)
Web 会議プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> • 製品番号 MCS-7835-H1-RC1 または MCS-7835-I1-RC1 (Media Convergence Server) <ul style="list-style-type: none"> – サーバあたり最大 50 の Web 会議ライセンスをサポート • 製品番号 MCS-7845-H1-RC1 または MCS-7845-I1-RC1 <ul style="list-style-type: none"> – サーバあたり最大 200 の Web 会議ライセンスをサポート
サーバ ソフトウェア	
Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ソフトウェアに含まれるソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 2000 Server • Microsoft SQL Server 2000
お客様で用意するサードパーティ製ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft PowerPoint 2003 (製品番号 MP-WEBCONFSW-5.4 で必要)
	<ul style="list-style-type: none"> • XingMP3 Encoder (オプション — Web インターフェイスによる MP3 音声レコーディング用)
	<ul style="list-style-type: none"> • SSL 証明書 (オプション — SSL サポート用)
クライアント ソフトウェア	
Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows ME、Windows 2000 Pro/SE/AS SP2、Windows XP、Windows 2003
	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 5.5 SP2 以降
	<ul style="list-style-type: none"> • Netscape 7.1 * 以降
	<ul style="list-style-type: none"> • Firefox 1.5
	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Java Virtual Machine (JVM) 3309 以降 (Internet Explorer 5.5) • Microsoft JVM 3802 以降 (Internet Explorer 6.0) • Sun Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2 以降
Mac OS	<ul style="list-style-type: none"> • Mac OS 10 以降 **
	<ul style="list-style-type: none"> • Netscape 7.1 *** 以降、Safari 1.2 * 以降
	<ul style="list-style-type: none"> • Sun JRE 1.4.2 以降
UNIX	<ul style="list-style-type: none"> • Solaris 9 以降
	<ul style="list-style-type: none"> • Netscape 7.1 *** 以降
	<ul style="list-style-type: none"> • Sun JRE 1.4.2 以降

* アプリケーション、Web サイト、デスクトップ、プレゼンテーションの提示、表示、コメント付加、ホワイトボード、共同作業、共有、およびチャットが可能です。

** Mac のアプリケーションを共有するには、Mac OS 10.3 以降が必要です。

*** アプリケーション、Web サイト、デスクトップ、プレゼンテーションの提示、表示、コメント付加、ホワイトボード、共同作業、共有、およびチャットが可能です。

発注情報

表 2 に、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の発注情報を示します。ソフトウェアとユーザ ライセンスは、Cisco Unified MeetingPlace 8106 または 8112 シリーズ バンドルのオプション、または製品番号 MP-LICENSE-UPG 搭載のバンドルのオプションとして発注できます。発注する際は、下記の URL より「シスコ製品のご購入方法」をご覧ください。

http://www.cisco.com/jp/product/how_to_order.shtml

表 2 発注情報

製品名	製品番号
Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Conference User Interface(Cisco Unified MeetingPlace システム バンドル。Web 会議同時 5 ユーザ ライセンス付属)	MP-CONF-UI-5.4
Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Web Conferencing(Web 会議同時 20 ユーザ ライセンス付属)	MP-WEBCONFSW-5.4
Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ユーザ ライセンス バンドル(20 ユーザ ライセンス)	MP-WEB-UL-20
Cisco Unified MeetingPlace Web/音声レコーディング システム ライセンス	MP-RM-RECORDING

サービスおよびサポート

シスコは、お客様がそのネットワーク サービスを最大限に活用するため、各種サービス プログラムを用意しています。これらのサービスは、スタッフ、プロセス、ツールをそれぞれに組み合わせて提供され、お客様から高い評価を受けています。ネットワークへの投資を無駄にすることなく、ネットワーク運用を最適化しネットワーク インテリジェンスの強化や事業拡張を進めていただくためにシスコのサービスをぜひお役立てください。サービスについての詳細は、以下の URL を参照してください。

テクニカル サポート サービス

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/>

サービス プログラム

<http://www.cisco.com/jp/service/contact/>

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0609R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00